



2024-2025年度テーマ・スローガン

RI ステファニーA.アーチック会長



第2820地区 大高司郎ガバナー

BE THE INSPIRATION
“元気な一歩、共に成長するクラブの力”

土浦RC 原田博夫会長

Toward Social Well-Being
“ソーシャル・ウェルビーイングを目指して”

【ツバメ】

全長 17cm。北海道から九州までの地域に夏鳥として飛来し、人家や商店、駅などに泥でおわん型の巣をつくる。家の軒下に巣をつくったツバメは、雷や火事を防ぐ生きものと信じられ、子どもを生き育てるおめでたい鳥として人々に愛され、大切にされた。子育てが終わると、川沿いのヨシ原等に数千羽から数万羽が集まり、ねぐらをとる。8月中旬から10月にかけて東南アジアへ渡る。オスカー・ワイルドの童話「幸福な王子」で有名。

2024~2025年度(第67期 原田博夫年度)

7月第3例会プログラム

7月18日(第3184回) VOL. 3

●点 鐘	会 長
●ロータリーソング	奉仕の理想
●ビジター紹介	親睦活動委員会
●米山記念奨学生 奨学金授与	会 長
●幹事報告・委員会報告	
●会 食	
●今期事業方針発表	理事・委員長
●にこにこBOX	S.A.A
●出席報告	出席委員会
●点 鐘	会 長
●クラスソング	ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

土浦ロータリークラブ

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社

創 立 1958年2月14日(昭和33年)

会長 原田 博夫 幹事 廣瀬 正

承 認 1958年3月 7日(昭和33年)

事務局:土浦市中央2丁目16-9(常陽銀行4F) TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場:L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30



67期事業計画

会員組織委員会

平島 隆之 会員組織委員長

事業計画

1. 会員減少に歯止めがかからないこの現況に対する危機感を共有し、まずは50名体制への回復を目標に会員増強に注力する
2. 時代に合わせた会員選考、および職業分類の維持・刷新を行う
3. こちらも時代に合わせた新入会員へのオリエンテーションの見直しと、STAR委員会等を利用して、歴の浅い会員を中心にロータリーへの理解を深めるプログラムを実施する。



委員長所見

クラブ創立60周年時の会員数と現在の会員数を比較すると、じつに25%も会員数が減少し、この傾向に歯止めがかからない状況である。地区内でも伝統と歴史のあるクラブとして存在感を維持して行くため、何よりも色々な活動について、必要となる人員と予算を考えると、小さな事しかできない組織になってしまうことが懸念されるので、会員候補の掘起こしを行って増員をして行きたい。また、あらたに迎えた会員を単なる数合わせのための会員ではなく、ロータリアンとして長きにわたって活躍してもらえよう、ロータリーへの理解を深められる機会を増やしたい。

会員増強委員会

臼田 恭士 会員増強委員長

事業計画

- 多くの仲間と奉仕・親睦活動を行うために会員数50名を回復することを目標といたします。
- ・クラブの様々な奉仕活動との連携や土浦ロータリークラブの紹介ビデオを使用して、幅広い分野で活躍されている若い会員や女性会員を入会に導くように努めます。
 - ・既存会員の退会者を減らすべく、既存会員の状況等を把握した上で予防策を講じるように努めます。
 - ・会員にヒアリングを実施し、入会候補者のリストを作成いたします。会員全員で共有できるようにし、適宜のタイミングでアプローチができるように努めます。
 - ・土浦ロータリークラブの入会候補者用のパンフレットを作成し、ロータリークラブの概要を知ってもらうことで入会につながるように努めます。



委員長所見

年々会員数が減少しており、60周年時に60名以上いた会員も40名台になっております。このままではクラブの運営、奉仕活動に支障をきたす状況になっております。会員数が50名に回復するには会員皆様のご協力が不可欠になります。会長、幹事、会員増強委員長を筆頭にクラブ全体で会員増加に取り組んでまいります。

職業分類会員選考委員会

鈴木 敏之 職業分類会員選考委員長

事業計画

1. 職業分類表を作成し、充填、未充填を整理する。
2. 未充填の職業分類は関係委員会と協議し検討する。
3. 職業分類の見直しと新分野の職業分類を検討する。
4. 推薦された会員候補の選考については、当クラブの会員として適正かどうかを慎重に調査し、その可否を理事会に報告する。



委員長所見

会員数が減少している現状を鑑み、会員増強委員会等と連携を計りながら適正な職業分類を行い、当クラブにふさわしい会員選考を行います。

ロータリー情報委員会

佐藤 ぱうろ ロータリー情報委員長

事業計画

1. RIテーマ「ロータリーのマジック」、RI2820地区スローガン「BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”」、クラブスローガン「Toward Social Well-Being(社会的安寧を目指して)」を踏まえたロータリー情報を提供する。
2. 新会員の入会時にオリエンテーションを実施し、ロータリー活動での不安や知識不足を少しでも解消し、いち早くクラブに溶け込んでいただけるようにするために、会員としての権利・責務、クラブ運営や奉仕活動に関する基礎知識等の情報提供をする。
3. STAR委員会(Special Training for Action in Rotary) を2回開催する(上半期・下半期各1回)。入会3年未満が対象となるが、近年(コロナ禍以降)の開催が少ないことも考慮し、入会5年未満を中心にクラブ全体に参加を募る。
4. 会員増強委員会へのサポートとして、年度序盤に土浦ロータリークラブの紹介リーフレットを作成する。



委員長所見

文字通り、ロータリーについての情報を活用する委員会として、新会員や入会間もない会員を中心としつつ、クラブ会員全員に資するロータリー情報の提供に努めるとともに、会員増強のツールとして、クラブ情報やロータリーの基本を簡潔にまとめたリーフレットを作成します。

また、本年度より、当委員会が、RIの定める「クラブラーニングファシリテーター」を兼務することですので、会長をはじめとするクラブのリーダーと協力しながらラーニング行事とプログラムを企画します。

クラブ管理運営委員会

鈴木 敏之 クラブ管理運営委員長

事業計画

クラブ管理運営委員会活動はRIテーマである、THE MAGIC OF ROTARY(ロータリーのマジック)の基、平和構築・行動計画を前進させる・ポリオ根絶実現の3つの方針を踏まえて活動を進めます。



1. 各委員会活動の運営を円滑に進めるためのサポート。
2. 多彩な親睦活動により、会員の相互交流と理解を進める。
3. プログラム充実により、出席率向上と会員相互交流と教養に資する。
4. クラブ会報の充実と対外広報資料としての活用。
5. 外部発信によるクラブの公共イメージの向上。
6. My ROTARYの登録率向上。

委員長所見

コロナが5類となり1年が経過し、例会の運営もコロナ禍以前の状態に戻りました。例会プログラムの充実、親睦活動の活発化を図り、会員の相互交流を進めます。公共イメージ委員会とIT委員会が統合され「公共イメージ・ICT推進委員会」となりました。積極的に活動し、公共イメージの向上につなげましょう。My ROTARYの登録率地区数値目標である75%を早期に達成するよう努めます。

出席委員会

菅井 歩美 出席委員長

事業計画

- (1) 例会の出席率100%を目指す。
- (2) 前年度出席率100%の模範会員を表彰する。
- (3) 欠席の多い会員の方に、電話やLINE等で出席推奨の連絡をする。
- (4) 出席委員会メンバーは、少し早めの会場着を目指し、皆様に笑顔でお出迎えすることで出席したいと思える雰囲気作りに努める。
- (5) 各種参加事業に積極的に参加し、会員全体が参加したいと思える環境づくりに努める



委員長所見

例会に毎週出席したいと思えるよう会員1人1人と笑顔でコミュニケーションをとるよう心掛け、ロータリアンとして人とのつながりを大切にしていける機会を設けていきます。明るい出席委員会というイメージを定着化させ、楽しそうな雰囲気づくりに貢献していくことを目標に例会参加人数の向上を目指します。

出席が難しい会員に対し、近況を聞きながら例会に1日でも多く出席できるよう積極的な声掛けや連絡をしていき、明るい例会づくりを目指します。

親睦活動委員会

藤田 雪絵 親睦活動委員長

事業計画

1. 例会時の会員及び来訪者の出迎えを行い、例会に於いて来訪者を紹介する。
2. ゲスト卓話者を幹事、SAA、プログラム委員会と協力し歓迎する。
3. 誕生祝、結婚記念祝、入会記念祝を毎月、さらに年男・年女のお祝いを念頭に行う。
4. 家族懇親会等クラブ内行事の企画運営を行う。
5. 地区、分区行事等への協力をする。
6. 各種同好会活動への協力をする。
7. その他会員相互の親睦のための企画検討を行う。



委員長総括

「親睦活動」という言葉通り会員同士の親睦に重点を置き活動していきます。

そのためには会員の皆様の相互理解が深められるよう交流の機会をなるべく多く設けるよう検討いたします。

更には、新入会員の歓迎という意味でもその歓迎会を随時行っていこうと思います。

会員の皆様のご参加、ご協力をお願い致します。

プログラム委員会

高田 真光 プログラム委員長

事業計画

1. 第67期クラブ方針に基づき、格調高く、会員の満足度を高める「例会」の充実と、クラブ内外の講師による多彩な「卓話」を心がけます。
2. 第1例会では、会長挨拶、各種お祝い、「ロータリーの友」の紹介を主な内容とします。
3. 外部講師の卓話のみならず、会員による卓話の機会を多くとるようにいたします。
4. 特別月間においては、テーマに沿った卓話を計画いたします



委員長所見

大高ガバナーの掲げるスローガン「元気な一歩、共に成長するクラブの力」、原田会長の掲げるスローガン「社会的安寧を目指して」に基づき、クラブのこ地域のことをより一層知っていくことができるように、様々なかたの卓話をしていきたいと考えています。また、様々な職業にまつわる専門知識を持った会員も多数いますので、会員の卓話も計画してまいります。

ロータリー財団委員会

高橋 宏成 ロータリー財団委員長

事業計画

ロータリー財団プログラム(教育的・人道・文化交流)の目的や内容を会員に理解していただくよう努めるとともに、その実現のために寄付を募るものとする。

1. ロータリー財団月間での例会担当



- 2, 例会場の入口に寄付コーナーを設置し、クラブと会員が寄付のお声掛けをする
- 3, 国際親善奨学生募集、同カウンセラーへの支援
- 4, 人道的奉仕活動計画に地区補助金申請への支援協力
- 5, 地区財団寄付目標額、年次基金寄付150ドル、ポリオ・プラス
基金30ドル、ベネファクター(1000ドル)クラブ1名以上の達成、ポリオ・プラス・ソサイエティ、クラブ1名以上の達成

委員長所見

「世界でよいことをしよう」をクラブのスローガンとし、ロータリー財団のプログラムの目的や内容を会員に理解して頂くよう努めるとともに、その実現のために寄付を募り、事業計画を達成します。

SAA委員会

中山 雅彦 SAA委員長

事業計画

土浦ロータリークラブの伝統と格式を保ち、和やかな中にも厳かで緊張感のある例会をつくります。

- 1, 会長、幹事をはじめとして出席委員会、親睦活動委員会、プログラム委



- 2, 例会中の会場の出入りや私語については自粛して頂けるよう協力をお願いします。
- 3, 奉仕活動の財源でもあるニコニコボックスの目標額を250万円とする。
- 4, 例会の開始・終了時間を厳守することSAAの第一優先であることを認識して緊張感を持って会場監督にあたる。
- 5, 卓席ごとに花を設置して、例会に気品を添える。
- 6, ミリオンダラーミールを実施する。

委員長所見

ロータリークラブの原点となっている例会への毎回出席があります。例会はクラブの鏡であることを意識して原田博夫会長の活動方針に沿って格調高さと楽しさ・親睦が共存できるが例会を進行してまいります。

会員、来賓、ビジター等全ての人に有意義な時間をお過ごしただけよう、細心の注意を払って例会を運営していきます。

ニコニコボックスを積極的に活用して頂けるように努めます。

にこにこBOX

7/11 計50,000円 累計135,000円

メイクアップ

7/13 ロータリー財団研究会 菊池、高橋

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
44名	14名	30名	0名	68.18

例会予告

7/25 卓話 田中 健太様

